

広陵町と県とのネットワークシステム 検討特別委員会活動報告

特別委員会の目的

- ・本町と県との公害等のネットワークシステム作り
- ・本町内の公害建築物等の解体時の届出制度と周知体制の確保
- ・広陵町百済地内の違法解体問題の検証

3月28日 第1回委員会開催

百済地内でおきた倉庫の無届解体に伴う経過説明と今後の進め方について検討。

4月15日 奈良県議会百条委員会

「第6回倉庫の無届解体問題調査特別委員会」を傍聴

4月23日 第2回委員会開催

県百条委員会の進捗状況の報告。

4月25日 奈良県議会百条委員会

「第7回倉庫の無届解体問題調査特別委員会」を傍聴

5月13日 第3回委員会開催

参考人から意見を聞く。

- ・広陵町元教育委員会事務局長
- ・広陵町立広陵東小学校校長
- ・広陵町立広陵東小学校教頭
- ・広陵町立広陵東小学校
附属幼稚園元園長
- ・広陵町事業部長
- ・広陵町教育長

解体当時の状況や、今後の対応の必要性を聞きました。

5月29日 奈良県議会百条委員会

「第9回倉庫の無届解体問題調査特別委員会」を傍聴

6月4日 第4回委員会開催

再度、参考人から意見を聞く。
・広陵町教育長

6月12日 奈良県議会百条委員会

「第10回倉庫の無届解体問題調査特別委員会」を傍聴

議会基本条例策定特別委員会活動報告

議会の権能を高めるための改革を

現行の地方自治制度では、首長も議員も住民の直接選挙により選ばれます。これは「二元代表制」であります。

とかく議会に対する住民の評価には厳しいものがあり、町長の施策に無批判であったり、行政の監視役を果たし得なかつたりしてはなりません。

議会は、住民の声を代弁すると共に、住民の期待に応える監視機能を高め、政策立案機能を充実させることが必要であります。さらに、議会は独立性を高め、自らが襟を正し、緊張感を持ち、調査能力も向上させる必要があります。

こうした中で、住民の期待に添えるよう、議会に関する基本事項を議会基本条例に規定し、より一層の活性化に努めます。

取組状況

平成25年7月4日

▼研修会の開催（写真右下）
「議会基本条例制定に向けて」



講師 全国町村議会議長事務局
議事調査部 鈴木毅氏



平成25年8月23日

▼第1回議会基本条例策定特別委員会を開催
視察地 兵庫県加西市議会